

西沢ひろふみ市議会レポート

西沢ひろふみ事務所

980-0871 仙台市青葉区八幡5丁目6番1号

Tel 022-717-6340

Fax 022-717-6342



Facebook・Twitter・Web

にて情報発信中！



ご挨拶

こんにちは、西沢ひろふみでございます。
常日頃、私の活動に対しご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

さて、ようやく新型コロナウィルスの感染も落ち着きつつある中、本市にも国内外から多くの観光客が訪れるようになります。今後は、コロナとの共存が浸透し、市民の皆様の日常生活が戻っていく中で、より一層観光客誘致を促進するなど本市経済活性化に取り組んでまいります。

この度、昨年の第3回定例会以降の市議会における活動の一端を市政レポートとしてまとめました。ご一読の上、ご意見等賜れば幸いに存じます。何卒、今後とも変わらぬお力添えを心からお願い申し上げます。

令和5年5月吉日

西沢ひろふみ 拝

令和4年9月21日 令和3年度 決算等審査特別委員会(第2分科会) 今後の町内会活動の活性化

問 町内会加入率が20年前の89.7%から昨年は76.7%へと低下しております。さらに、コロナ禍により集まる機会が減少したことから、町内会活動が停滞し、地域コミュニティーが弱まっております。今後、どのようにして本市の宝と言われた町内会組織を、以前の活発に活動していた姿に戻していくかお考えのか伺います。

答 市民局長 今後とも、コミュニティーの基盤である町内会がコロナ以前にも増して積極的かつ持続的に活動していただきますよう町内会の皆様と丁寧に意見を交換するとともに、コロナ後を見据えまして本年度実施します町内会応援!プロジェクトの中で、町内会の役割とか町内会加入のメリットなどを積極的に周知するなど、新たな取組を行いながら、各区、総合支所とともに取組を進めてまいります。

令和4年9月27日 第3回定例会 一般質問

小中学校での今年度後半における縦割り交流の推進

問 教育委員会も、児童生徒がコロナ禍でこの2年半経験できなかつた先輩後輩との縦割りでの交流の機会を、今年度後半には実施できるよう支援していくべきだと思いますが、教育長のご所見を伺います。

答 教育長 教育委員会としても、上の学年から下の学年への伝統の継承のためにも異なる学年での交流は、児童生徒がその社会性を身につける上で非常に重要なものと考えており、今後、各学校がそいつた取組を行えるよう支援してまいります。



令和4年決算等審査特別委員会の質疑

令和4年12月19日 第4回定例会 一般質問 租税教育の充実に向けた今後の取組

問 学校教育で、社会における税金の重要性、まさしく税金を納めることで大きな役割を果たしていることを児童生徒が認識するために、本市は今後、どのように租税教育の充実を図っていくか伺います。

答 郡市長 私も、本市の未来を支え、我が国の発展に重要な役割を担うであろう子供たちが、税を通して社会や国のある方について主体的に考える力を醸成することができるよう努めてまいります。

令和4年12月19日 第4回定例会 一般質問

脱炭素に向けた取組

問 今、世界各国が脱炭素に向けた取組を進めております。本市でも、さらに高い目標の実現のため、杜の都環境プラン等の改訂に着手しました。こうした姿勢は評価するものの、目標を達成するためには提案したような実効性のある施策の実現と、市民を牽引していく強力なリーダーシップが求められます。市長のカーボンニュートラル実現への意気込みを伺います。

答 郡市長 2050年ゼロカーボンの実現には、まず、本市自らが率先して、あらゆる事業において範を示していくことが極めて重要であります。全庁一丸となって、市有施設のZEB化、太陽光発電など再生エネルギーの導入などを推し進めるとともに、大学や企業などの知見や先端技術なども積極的に取り入れ、様々な角度から大胆な施策を講じて、脱炭素都市仙台の実現に向けて果敢に取り組んでまいります。

令和5年2月22日 一般質問 住宅改造費助成制度

問 高齢者等の自宅のバリアフリー化などを支援する本市の住宅改造費助成制度については、制度開始以来永年にわたり、変わらぬ内容で実施されておりますが、今後は、予防対策にも重きを置くなど、時代の変化も見据えながら、可能な限り多くの高齢者が要介護状態にならず、住み慣れた住居で暮らし続けられるよう、要件の緩和等を検討すべきだと思いますが、ご所見を伺います。

答 郡市長 この制度は、介護認定等を受けた在宅の高齢者の皆様が、安心して生活できる環境を確保することを目的として実施しておりますが、制度開始から30年近くが経過し、この間、バリアフリーの普及状況や住環境に対するニーズ等も変化すると共に、介護予防の視点も重要性を増してきているものと認識しております。

今後、他都市の事例も参考にしながら、対象要件も含め、制度のあり方について検討を進めてまいります。



令和4年11月25日 委員会市内視察 市水道記念館 令和4年11月25日 委員会市内視察 青下ダム 令和5年4月26日～6月18日まで開催
第40回全国都市緑化仙台フェア

令和5年2月22日 一般質問 不登校対策

問 全国で不登校児童生徒数が増加傾向にあり、本市においても令和元年度1,877人、令和3年度2,288人と増加しております。本市では、その対策としてステーションの取組を実施しており、ステーション設置校ではそれが効果的で特色ある取組を進めてきているとお聞きしております。

次年度、新たに5校に設置予定とのことでありますが、こうした取組を今後どのように活かしていくお考えなのか、ご所見を伺います。

答 教育長 設置校では、調理実習、奉仕活動などの体験活動を充実させることで、自己肯定感やコミュニケーションスキルの向上に繋げている事例などがあり、各校が生徒の社会的自立に向け、特色ある取組を展開しております。今後も、こうした実践事例を学校間で共有し、ステーションにおける不登校生徒への支援に繋げてまいります。

令和4年12月19日 第4回定例会 一般質問

起業家教育の推進

問 今後、本市での起業を促進していくためには、教育段階からの育成が不可欠と考えます。起業家教育はそのための重要なテーマと考えますが、市長のご所見を伺います。

答 郡市長 本市では平成18年度から仙台版キャリア教育、自分づくり教育を行っており、その中で育まれるたくましく生きる力は起業家精神や、また起業家の資質、能力とも重なるものであると考えております。仙台の子供たちがチャレンジ精神や探究心、実行力などの起業家精神を身につけられるように、教育委員会と共に今後一層取り組んでまいります。